

## 地域づくり提案事業 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 21年度

市町村名	富士見市					
提案事業名	活気あふれる商店街づくり事業					
事業期間	21年度					
成果指標	(成果を検証する指標) プレミアム付き商品券利用期間中の月平均売上額の増減					
	(成果検証の具体的な方法) プレミアム付き商品券の利用取扱全店に対してアンケートを実施し、商品券の利用期間前月(平成21年5月)と利用期間中の月平均売上額の増減について調査する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	(A) B C
	従前値 (年月時点)	—	目標値 (21年9月時点)	平均売上額 増加店舗2割	実績値 (21年9月時点)	1.9割
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページにおいて公表する				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成21年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① プレミアム付き商品券発行事業	○	普段、市外で商品を購入している消費者が、商品券を利用することによって、市内店舗で購入する機会が増え、地域経済効果と商店街の活性化につながった。
② 商業活性化ビジョン推進事業	×	平成22年度において商業活性化ビジョンの検証を行う。
③ 商業活性化研究会支援事業	○	「ふじみ逸品」カタログ4万部発行、逸品フェア加盟店舗用のぼり旗の設置などで市の知られざる商品や小売店の知名度が高まった。
④ 商店街活性化推進事業	○	商店会の実施する、夏祭りやライブコンサート、よさこい祭りなどのイベントを通して商店街に賑わいがあふれ、地元への愛着を深める機会ともなり、地域全体の活性化につながった。
⑤		
⑥		

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	商品券購入者アンケートによると、普段は市外で商品を購入していた消費者が市内で購入する機会になった。特に衣料品、飲食店での食事にその傾向が見られる。総換金額に占める割合は7割が一般小売店となっており、身近な地域店舗への誘客に効果があった。
実施事業について 成果が不十分である点	商品券加盟店舗の中には、消費者が現金の代わりに商品券を利用しているだけで売上増に結びつかなかったとする報告があり、時限的な商品券利用だけでなく購買意欲を刺激するための工夫が必要である。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	今回実施したプレミアム付き商品券発行事業の成果や課題も踏まえ、消費者ニーズや商業環境の変化に対応するため、商工会、商店会等産業関係者との協働により平成22年度に商業活性化ビジョンの検証を行う。

(記入上の注意)

**【成果指標の達成状況】**

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値が80%以上の場合

「達成度B」 目標値に対する実績値が60%以上80%未満の場合

「達成度C」 目標値に対する実績値が60%未満の場合

**【事業効果の整理・原因分析】**

・事業効果(○・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない